

【平成17年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	フリーター等がアメリカ村や新興企業で通用する熱い人材に育つ人間力養成プログラムの完成		
学校法人名	学校法人 清風明育社		
学校名	清風情報工科学院		
代表者	理事長 平岡 龍人	担当者・連絡先	副校長 平岡 憲人 06-6657-2369

<事業の概要>

昨年度、専門学校と企／起業家がタイアップし、若者に多様な選択肢の存在と就業の自覚を与え、企／起業家の求める人間力が身につく短期教育プログラムを試行した。本年度は実証講座の期間を6ヶ月に延ばし、学生が自信をつけた後、実践を通じてセンスと心を磨けるレベルに高度化させた。また、カリキュラムを含む運用マニュアルを他校や他の企業が実施できるレベルに一般化した。これらにより、企業が求める「可愛げに裏打ちされた実務のセンス（人間力）」を養成するプログラムを整備した。

<成果>

専門学校（清風情報工科学院）、大学（立命館大学、追手門大学）、各種学校（Vantanデザイン研究所）により、社会人講師を支え、まち場をキャンパスに展開する人間力養成プログラム「アメリカ村EGGプロジェクト2」を実践し、カリキュラムや運用マニュアルを高度化した。

具体的には、人間力特別講座「ライフマネージメント」「ヨガセラピー」、若手経営者や研修担当者を招いて行う人間力トークセッション、現場のプロを講師に実施する人間力ゼミ（塾）「商業施設塾」「音楽イベント塾」「メディアMIX塾」を開講し、学生に擬似的な仕事を通じて気づきを与え、人間力を向上させた。また、昨年度の事業により作成した「運用マニュアル」の内、カリキュラムを整備した他、サポートガイド等にイラストを追加したり、実際に発生しがちな問題への対処方法を充実し、他校や他の企業が実施できるレベルに引き上げた。さらに、プログラムをプロモーションするDVDの完成、講義のコンテンツ化とともにネットを利用したトークセッションの動画配信や、参加者同士のコミュニケーション頻度をアップさせるためのコミュニティーサイトも完成させた。

前回、今回の実施ともに、受講してくれた若者たちに人間力を身につけさせることができたが、私たちが考える最終到達地点まで成長させられたかという点、時間的な制限などにより、完全に満足できるレベルまでは引き上げることはできていない。これについては、前回の終了時点で計画された「自信をつけるフェーズ」と「叩きのめすフェーズ」の2つのフェーズの実施が必要であったと考える。過去2回の実施により、それぞれのフェーズの有効性は検証された以上、今後はこれら2つのフェーズ共実施できる体制を整え、本プロジェクトの完成度をより有効性の高いものに仕上げ、ゆく必要性を感じる。

次回よりの実施は、早期に「自信をつけるフェーズ」のプログラムを実施することで、自信をもって積極的に行動できる若者を育て上げ、その後、今回と同様の「叩きのめすフェーズ」のプログラムを実施し、積極的で根拠のある自信を持った若者を育て上げるといった2段階のプログラムの実施が必要であると考え。しかし、従来どおりの半年間の実施期間では2段階のフェーズを十分な形で実施することは不可能である。そこで、次回よりは早期に「自信をつけるフェーズ」として「プレ講義」を実施し、その後、今回同様の「叩きのめすフェーズ」を実施するスタイルで運営を進め、さらに「プレ講義」にてリーダーシップを身につけた者については、後半よりスタートする「叩きのめすフェーズ」にて、学生リーダーのポジションを与え、より高レベルな人間力を備えた若者へと教育してゆく。もちろん、リーダー候補の学生については、後半の「叩きのめすフェーズ」開始までに、リーダーシップが発揮できるレベルまで成長してもらうため、それらのリーダー候補の学生にのみ「インターンシップ形式」の「特別講義」を実施する。また、こうした学生リーダーの存在によって、リーダー以外の学生のモチベーションアップが期待できる。

こうした3段階で受講生たちに人間力教育を行ってゆくことで、次回よりはさらに高度なレベルの人間力を身につけた若者を育て上げられるようにしてゆきたいと考える。

成果物

- アメリカ村 EGG プロジェクト総括報告書
- アメリカ村 EGG プロジェクト運用マニュアル
- アメリカ村 EGG プロジェクト講義風景冊子
- アメリカ村 EGG プロジェクトビジュアルコンテンツ（DVD）